

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	33	保存修復学

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-03				
	●									
科目名	保存修復学				単位 認定者	原田 英太巴 西條 佳奈		評価 の方法	試験(筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		15 時間	
				授業回数		10 回				
授業の概要	う蝕などの硬組織疾患によって生じた欠損部の様々な修復法やその修復材料についての基礎知識を修得する。さらに、保存修復における診療補助の基礎知識を修得する。									
到達目標	保存修復学の基礎を学び、保存修復に関する診療補助の能力を修得する。									
学修者への期待等	講義内容の理解を確実にするため、授業内容の復習を期待する。特に授業で出てくる特殊な単語を理解するように心がけること。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	概論（保存修復学の意味と概要）				教科書Ⅱ編1章①②③をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
2	診査診断と前準備				教科書Ⅰ編2章と教科書Ⅱ編1章④をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
3	う蝕（う蝕の病態と窩洞形成）				教科書Ⅱ編1章①②をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
4	直接修復法①（コンポジットレジン修復）				教科書Ⅱ編2章①をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
5	直接修復法②（グラスアイオノマーセメント修復）				教科書Ⅱ編2章②をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
6	間接修復法①（メタルインレーおよびアンレー修復）				教科書Ⅱ編3章①-1、2をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
7	間接修復法②（審美的間接修復）				教科書Ⅱ編3章①-3、4をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
8	ベニア修復とホワイトニング、合着材および接着剤				教科書Ⅱ編3章②③をよく読んで授業に臨むこと。授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。（45分程度）				原田 英太巴	
9	保存修復における歯科衛生士の役割 （コンポジットレジン充填マネキン演習①／直接法修復における歯科診療補助について）				教科書Ⅱ編4章をよく読んで授業に臨むこと。（45分程度）				西條 佳奈 伊藤 明日香	
10	保存修復における歯科衛生士の役割 （コンポジットレジン充填マネキン演習②／直接法修復における患者指導について）				教科書Ⅱ編4章をよく読んで授業に臨むこと。前回までの復習をしておくこと。（45分程度）				西條 佳奈 伊藤 明日香	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	シラバス9、10回目はクラス別演習を行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）